
令和7年度 胃・大腸がん部会 要旨

日時 令和7年2月2日(月) 18:30~19:50 / 開催方法 オンライン (Zoom)

出席者 レジメのとおり

※詳細は、議事録のとおり

1. 開会 健康推進課長挨拶

2. 報告事項

- 1) 胃・大腸がん検診受診及び精密検査の状況 【資料1】
- 2) がん登録データから見た島根県の胃・大腸がんの状況 【資料2】
- 3) 市町村における胃・大腸がん検診実施状況 【資料3-1, 3-2】
 - ・ 委員) 受診対象者全員への個別受診勧奨が難しい理由は?
 - 事務局) 予算及びマンパワー不足と確認しているが、各市町村において対象者の選定等を行い、工夫して取り組まれている。
- 4) がん検診精密検査実施機関登録状況 【資料4】
- 5) 対策型胃内視鏡検診導入に向けた進捗報告 【資料5】
 - ・ 委員) 現在、全県の読影を3名の医師で対応しており、現時点では負担は大きくないが、今後の課題としては全県読影医の確保が必要。
- 6) 令和6年度 市町村におけるがん検診実施体制ヒアリング調査 【資料6】

3. 協議事項

- 1) がん検診受診率およびがん検診精度管理向上に向けて 【資料7】
 - ・ 委員) 胃がんの個別検診(内視鏡)はハードルが高く、まずは大腸がん検診の個別検診を進めるほうが取り組みやすいのではないかと考えている。大腸がん検診を進める上で、精度管理の注意点などがあれば、ご意見をいただきたい。
 - 委員) 松江市では、委託医療機関数が多いが、各機関が依頼している検査判定機関が採血回収の際に対応されるため、特に負担なく実施ができている。判定のカットオフ値等は、医師会の部会で要精検率等も確認しながら検討をしている。
 - ・ 事務局) 個別検診機関におけるチェックリストを、胃がん及び乳がんから県が実施・集約し、市町村へ共有。市町村は結果を踏まえて、精度管理の向上に向けた調整を検診機関と行うこととしたい。
 - 委員) 細かすぎると検診機関の負担になるが、書きやすくわかりやすいかたちで、運用しやすい形が望ましいのではないかと。
 - 事務局) 検診機関へのチェックリストの依頼文書は、部会長名で通知することは可能か。
 - 委員) 了承される。
 - 事務局) 既に実施している市町村と調整をしたうえで、来年度の実施に向けて検討を進めたい。